

2011年1月19日
シダックス株式会社

～シダックスグループ設立50周年を期して～
新しいタグラインが誕生
“はぐくむ、大切なことのすべて”

シダックス株式会社(東京都渋谷区:代表取締役社長 志太勤一 以下シダックス)は、2010年に迎えたシダックスグループ設立50周年を期して、このほど新しいタグラインを“はぐくむ、大切なことのすべて”と決定致しました。2011年4月より順次、新しいタグラインを加えたコミュニケーションマークを導入してまいります。

シダックスは、1960年5月に社員食堂の運営を行う給食事業として設立し、その後レストランカラオケ事業をはじめ、スペシャリティールレストラン事業、コンビニエンス中食事業、トータルアウトソーシング事業など幅広い事業を手がけるに至りました。2004年には「すべてのライフステージで食を提供する総合フードサービス企業」として、「お客様をわが子のように想い真心を込めて食事やサービスを提供する」ことを表した“マザーフード”を基本理念とし、コーポレートマークとして使用してまいりましたが、業容の拡大と「総合サービス企業」「社会問題解決型企业」へと企業ドメインを移したことにともない、また、シダックス設立50周年を期して、グループ全体を包括する新しいタグライン“はぐくむ、大切なことのすべて”を制定致しました。

この時代、企業はいかにお客様への愛情や誠実さを保ちつづけながら、人をはぐくみ、人と人の絆をつむぎ、社会へ貢献していけるかを問われています。

シダックスは事業活動を通じて、これからも生きるための基本となる「食」の安全を守り、生きることを幸福につなげる「人と人の絆」を支えたい。そして、真心を込めて世の中の「大切なこと」を提供しつづけたいと考えています。そのような母性ともいえる想いを、一行のメッセージに託しました。

シダックスグループは社会問題解決型企业として、事業活動を通してよりよい社会づくりに寄与していくため、“はぐくむ、大切なことのすべて”を旗印に、次の50年へ新たに動きはじめます。

シダックスグループ:新しいタグラインとコミュニケーションマーク

<タグライン>

はぐくむ、大切なことのすべて

<展開日>

2011年4月1日(順次導入)

<シダックスグループ共通コミュニケーションマーク>

はぐくむ、大切なことのすべて
SHIDAX

この時代、企業はいかにお客様への愛情や誠実さを保ちつづけながら、人をはぐくみ、人と人の絆をつむぎ、社会へ貢献していけるかを問われています。

シダックスグループは事業活動を通じて、これからも生きるための基本となる「食」の安全を守り、生きることを幸福につなげる「人と人の絆」を支えたい。そして、真心を込めて世の中の「大切なこと」を提供しつづけたいと考えています。そのような母性ともいえる想いを、一行のメッセージに託しています。

以上

参考資料:シダックスグループ沿革

1959年	1月5日	創業
1960年	5月	東京都調布市に資本金 300 千円で給食事業を目的として富士食品工業(株)を設立(現シダックスフードサービス(株))
1964年	12月	セントラルキッチン落成 富士食品工業(株)をフジフード(株)に商号変更
1967年	4月	志太学園調理師学校開校
1970年	6月	武蔵野美術大学にカフェテリア実験店開設
1974年	4月	新宿住友ビルに日本初の超高層ビルカフェテリア開設
1975年	4月	フジフード(株)をキャフトフードサービス(株)に商号変更
1978年	10月	メニュー付食材セット日配事業に進出
1980年	4月	全国各地に営業本部を設置
	6月	給食施設並びに飲食店設備の設計、施行を目的として志太キャフトシステム(株)(現シダックスエンジニアリング(株))を設立 SLN システム(調理済冷凍食品)実験店開設
1983年	12月	社内の一部門として新宿 NSビルにて売店営業開始(コンビニエンス中食事業開始)
1985年	4月	SLN システムにより都銀・地銀の支店給食を全国展開開始
1986年	7月	キャフトフードサービス(株)を(株)シダコーポレーションに商号変更 志太キャフトシステム(株)をシダエンジニアリング(株)に商号変更
	1月	コンビニエンス中食事業を目的として(株)シダコーポレーションより独立し、(株)コンビニエンスシダックスを設立
1993年	4月	シダックス軟式野球部発足 (株)コンビニエンスシダックスを(株)コンビニエンス シダに社名を変更
	8月	レストランカラオケ事業を目的として(株)シダックス・コミュニティーブラーザを設立(現シダックス・コミュニティー(株))
	12月	東京都立川市栄町にレストランカラオケ第1号店舗「立川栄町クラブ」をオープン シダックス硬式野球部となり、東京都野球連盟に登録
		日本女子サッカーリーグ所属の新光精工 FC クレールのスポンサーとなり、TOKYO SHIDAX LSC に変更(1995年3月解散)
1994年	3月	(株)シダコーポレーションをシダックス(株)に商号変更
	5月	(株)シダックス・コミュニティーブラーザをシダックス・コミュニティー(株)に商号変更 シダエンジニアリング(株)をシダックスエンジニアリング(株)に商号変更
1996年	4月	シダックスフードサービス(株)株式を日本証券業協会の店頭登録銘柄として登録(2001年3月店頭上場廃止)
1997年	4月	(株)コンビニエンス シダが株式会社ヴァンチャーシダックスを吸収合併、社名を、「シダックスシーアンドバイ株式会社」に変更
1998年	10月	シダックスフードサービス(株)に商号変更
	9月	レストランカラオケ店舗にてカルチャー事業開始、第1号店舗国分寺、府中の2店で同時オープン
	10月	シダックス硬式野球部 日本選手権初優勝
1999年	12月	シダックス・コミュニティー(株)株式を日本証券業協会の店頭登録銘柄として登録(2001年3月店頭上場廃止)
	4月	国内最大手の酒類・食品卸国分株式会社とのアライアンスにより、所沢センターより関東圏の一元物流システムを開始
	12月	シダックスフードサービス(株)及びシダックス・コミュニティー(株)の両社は共同完全親会社であるシダックス(株)を設立するための株式移転契約を締結
2001年	4月	外販体制完成、同業他社向け食材配送開始 東京都調布市にシダックスフードサービス(株)とシダックス・コミュニティー(株)が共同して株式移転によりシダックス(株)を設立 当社株式を日本証券業協会の店頭上場銘柄として上場
	9月	食材の一元購買・物流を行うエス・ロジックス(株)(現 連結子会社)の株式を取得
2002年	2月	ISO14001 認証取得
	3月	Shidax USA Ltd.及び Bon Appetit Management Company の株式を売却
	8月	沖縄県那覇市に「那覇新都心クラブ」をオープン 北海道から沖縄まで、レストランカラオケを運営
2003年	11月	シダックス硬式野球部 野村克也 GM 兼監督就任
	3月	全国 38カ所の物流網を構築(エス・ロジックス(株))、一部特定地域を除き一元物流体制の全国網羅
	4月	(株)東急百貨店より(株)レストランモンテローザの株式 100%を取得しシダックスグループの事業会社となる
	8月	シダックス硬式野球部 都市対抗野球準優勝 (株)レストランモンテローザよりシダックスレストランマネジメント(株)へ社名変更
2004年	10月	セントラルキッチンによる「安心・安全」で美味しいお食事をお届けするため、オムロンデリカクリエイツ(株)の株式を取得 共同購買機構 FunsAP に参加
	5月	ISO9001 認証取得
	7月	東京都渋谷区に本社機能とレストランカラオケ・スペシャルティレストランが入った「渋谷シダックスビレッジ」開設
2005年	12月	主に売店業務を行うシダックスシーアンドバイ株式取得
	4月	大阪府大阪市に全ルームゴールド仕様のレストランカラオケ「ゴールド宗右衛門町クラブ」をオープン
2006年	7月	シダックスシーアンドバイ(株)をシダックスアイ(株)に社名変更
	6月	レストランホスピタリティ LLC 社およびアルイー/パティナ LLC 社の持分取得 株式会社小林事務所の飲食事業、システム事業およびプランニング事業により構成される営業の全部を譲受
	9月	シダックスレストランマネジメント(株)がトランスフィールド(株)のスイーツ事業を譲受 シダックス硬式野球部を解散し、「シダックス K-Ball 技術指導部」として、野球を通して青少年を育成する新たな活動を開始
	10月	シダックスフードサービス(株)が国内フードサービス(株)の株式取得
2007年	3月	大新東(株)の株式を取得(現 連結子会社)
2010年	5月	設立 50周年を迎える